

アコースティックな気分で！ 坂庭しょうご&城田じゅんじ Folk Live!

4/5 Friday
6:30pm (6:00pm開場)

アルカスSASEBO 1階
イベントホール

学生時代に出遭って30数年。
60年代のギター少年は、今、
日本で、アメリカで活躍する。
元ザ・ナターシャ・セブンのメンバー二人、
これぞアコースティックギターの達人
バンジョーが駆ける！マンドリンが跳ねる！
そして、心に染み入るハーモニー！



Shirota 城田じゅんじ Junji

1949年、静岡出身。現在アメリカ、サンフランシスコ在住。
京都産業大学時代、坂庭しょうごと出逢う。
1971年、高石ともやの呼びかけでザ・ナターシャ・セブンに参加。
バンジョー・プレイヤーとして活躍。
『107SONG BOOK』シリーズでは、日本初の本格的な5弦バンジョー
教則レコードを製作するなど、日本におけるブルーグラス・ミュージックの普及に貢献する。
1986年渡米。アイリッシュ・ミュージックに傾倒。
1997年、初めてのアイリッシュ・ギター・ソロアルバム『Sally Gardens』
を、以後3枚のアルバムを発表している。
1998年、全世界ケルティック・ミュージック・カテゴリーでCD『Garden
of Butterflies』がブロンズプライスを獲得。アメリカ、カナダ、ア
イルランドでもツアーを行っている。
アイリッシュ・ミュージック・マガジン(アイルランドで発行)で
は、主要ギタリストとして紹介されるなど、世界的規模で活躍中！

Sakaniwa 坂庭しょうご Shogo

1950年、京都出身。
1969年、マヨネーズを結成、シングルレコードデビュー。1970年
から、はしだのりひことクライマックスで活動。
1973年、城田じゅんじの誘いで、高石ともやとザ・ナターシャ
セブンに参加。アコースティックギター、フラットマンドリン・プ
レイヤーとして活躍する。
ナターシャ・セブン解散後、笠木透とフォークス、SAM、これらの
グループを経て、プロ30年を迎えた1999年ソロ活動に入る。
クライマックス時代、北山修とのコンビで作った『花嫁』は、大ヒッ
ト。同じく北山修とのコンビで、歴史教科書問題を取り上げた『戦
争を知らない子どもたち'83』、1997年TBS系東芝日曜劇場『理想
の上司』の主題歌『さよなら青春』などが代表曲。
また、NHK総合で放映された落語家桂枝雀氏追悼番組に『この思い』
(原曲はTHE LAST THING ON MY MIND)が挿入歌として取り上
げられ反響を呼ぶ。
現在、京都を本拠地として数多くのミュージシャンと共演するな
ど、幅広い音楽活動を続けている！
2002年3月28日、3枚めのソロアルバム『Hobo's Lullaby(ホーボー
ズ・ララバイ)』リリース